

令和2年度 御嶽山木曾本宮 春季祈念大祭 5月17日(日)

本年は新型コロナウイルス感染が拡大する中、緊急事態宣言が発令され、教団の諸行事の開催にも大きな影響を受けることとなりました。

春季祈念大祭も感染拡大防止のため、全国からの教師・信徒の参拝を自粛していただき、ご来賓にも参列をご遠慮いただくこととなりました。例年であれば全国から多数の参拝の下賑々しく斎行させていただくものの、今年は井上管長はじめ4名の祭員、職員と大祭担当役員の奉仕で執行しました。参拝自粛を通知していましたが、連絡の取れなかった方など20名ほどの参拝があり、地元報道機関も取材に来られました。

祭典は、正午より例年通り管長による斎主祝詞が世界平和と今年の御守護と弥栄の祈念を奏上され、加えて新型コロナウイルス早期終息祈願の祝詞奏上と「疫病退散祈祷符」に神威入魂祈念されました。また、生きとし生けるものは、すべて神の造化によるもの、神の心に従い危機を乗り越える知恵を発揮できるよう祈願され、管長教話とされました。

当日は大祭に先立ち、午前6時より御嶽山四合目にある「歴代管長霊場」において慰霊祭を執行し、歴代管長の徳行功績を称え慰霊の誠をささげました。



歴代管長霊場



慰 霊 祭



大祭祭員参進



木 曾 本 宮



御 開 扉



斎主祝詞奏上



神樂奉舞



齋主挨拶



幣加持



祭員

疫病退散願う 御嶽教祈念大祭

木曾町福島

御嶽信仰の全国組織の一つ、御嶽教(本庁・奈良市)は17日、春季祈念大祭を木曾町福島の木曾本宮で開いた。新型コロナウイルスの早期終息を願い、疫病退散を祈願した写真。

例年は全国の信者や御嶽山麓の商工・観光関係者らが見守るが、今年は感染拡大防止のために参列を自粛し、



教団本部職員ら20人の「うに」との意味の祝詞みとした。井上慶山管長(76)が「疫病が鎮まり、元の穏やかな暮らしが戻ってきますよ」との意を込めて、参列者が玉串をささげて感染症の鎮静を祈った。

参列者は「密閉、密

集、密接」の3密にならないように一定の間隔を空けて座った。祈念祭に先立ち、平成26(2014)年の御嶽山噴火災害の犠牲者のために黙とうをささげた。
(向山均)